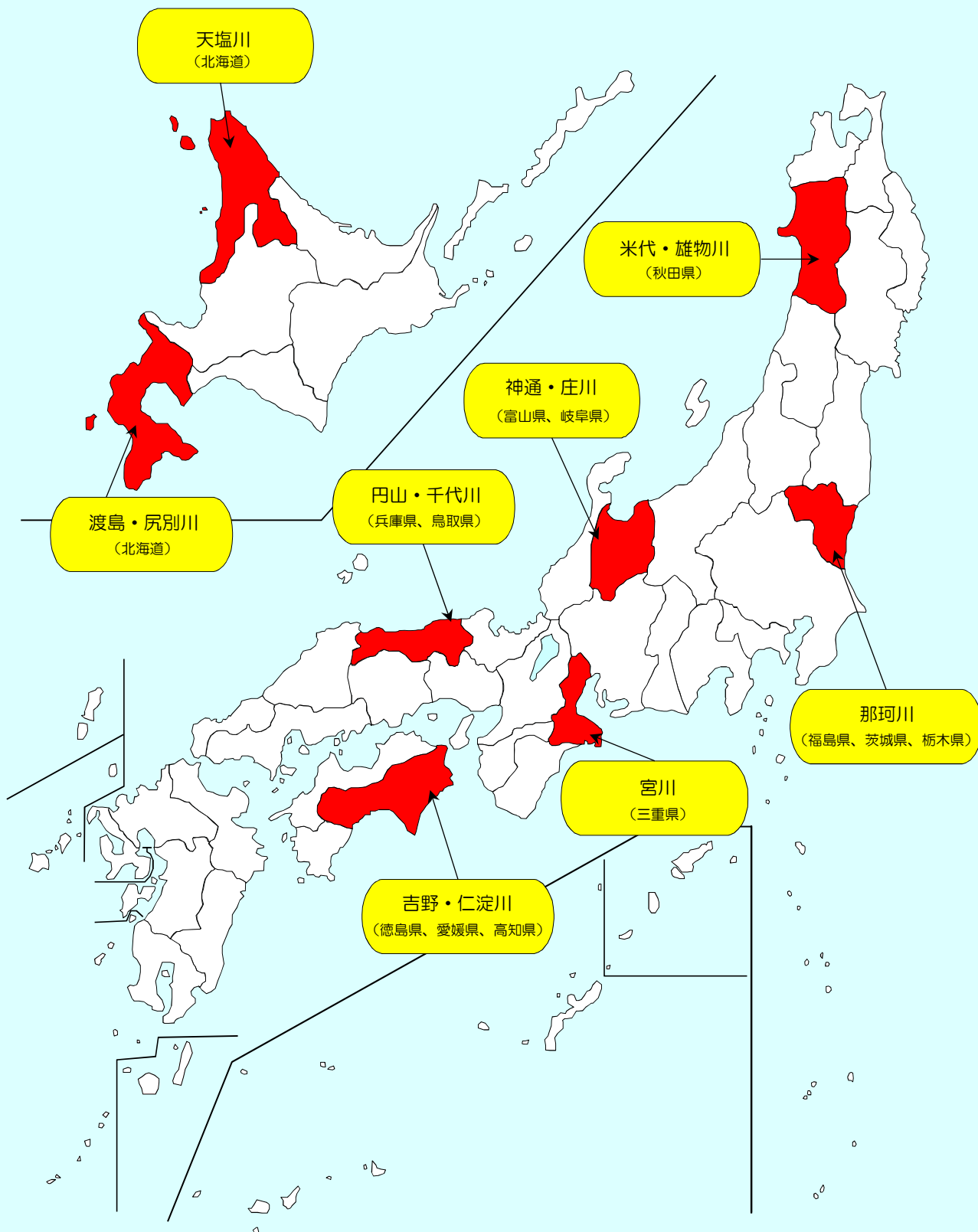


# 資料 6

# 平成28年度期中の評価対象広域流域

※()は関係都道府県



(参考1)

## 期中の評価における評価対象流域

No.	広域流域	H24	H25	H26	H27	H28	H29
1	天塩川					○	
2	石狩川	○					○
3	網走・湧別川		○				
4	十勝・釧路川			○			
5	沙流川				○		
6	渡島・尻別川					○	
7	岩木川	○					○
8	馬淵川		○				
9	閉伊川			○			
10	北上川				○		
11	米代・雄物川					○	
12	最上川	○					○
13	阿武隈川		○				
14	阿賀野川			○			
15	信濃川				○		
16	那珂川					○	
17	利根川	○					○
18	相模川		○				
19	富士川			○			
20	天竜川				○		
21	神通・庄川					○	
22	九頭竜川	○					○
23	木曾川		○				
24	由良川			○			
25	淀川				○		
26	宮川					○	
27	熊野川	○					○
28	紀ノ川		○				
29	加古川			○			
30	高梁・吉井川				○		
31	円山・千代川					○	
32	江の川	○					○
33	芦田・佐波川		○				
34	高津川			○			
35	重信・肱川				○		
36	吉野・仁淀川					○	
37	四万十川	○					○
38	遠賀・大野川		○				
39	筑後川			○			
40	本明川				○		
41	菊池・球磨川					震災により延期	
42	大淀川	○					○
43	川内・肝属川		○				
44	沖縄	-	-	-	-	-	-

※菊池・球磨川広域流域については、熊本地震の影響により次年度以降に延期して実施予定。

## 期中の評価における評価区域の単位について

### 平成22年度まで

- 全事業地を整備局毎（全国6局）に区分し、管轄区域にある同一年度契約全てを一実施単位として事業評価を実施。

課題：単位となる対象面積が広大（北海道・東北で一つなど）で、下流域に事業効果を発揮するという事業の特性を十分に反映した評価になっていない

（評価地域数：6局×8林齢区分＝48対象地）

対応：下流域に事業効果を発揮するという事業の特性や、事業期間の超長期性等を踏まえ、広域流域を評価区域の単位とすることとした。

### 平成23年度から

- 全国森林計画で規定する全国44の広域流域を評価区域の単位とし、5カ年毎に全ての流域で評価を実施する方法に変更。

- 地域の偏りがないように、評価区域が全国的に分散するよう選択。

- 全国44流域を5年で一巡することから、評価単年度の対象流域数は、8～9流域。

（平成28年度評価地域数：8流域×3区分＝24対象地）

## 平成28年度期中の評価対象地一覧

広域流域名 (関係都道府県)	区 分	契 約 件 数 (件)	契 約 面 積 (ha)	事 業 対 象 区 域 面 積 (ha)
天塩川 (北海道)		29	4,728.55	2,396.67
	30～49年経過分	12	1,431.40	865.71
	10～29年経過分	17	3,297.15	1,530.96
渡島・尻別川 (北海道)		75	7,408.88	5,801.72
	50年以上経過分	13	1,780.16	1,499.48
	30～49年経過分	37	4,389.77	3,498.37
	10～29年経過分	25	1,238.95	803.87
米代・雄物川 (秋田県)		399	14,077.97	11,572.17
	50年以上経過分	57	4,159.49	3,651.23
	30～49年経過分	179	6,160.80	5,164.79
	10～29年経過分	163	3,757.68	2,756.15
那珂川 (福島県、茨城県、栃木県)		21	454.16	308.18
	50年以上経過分	5	252.68	163.72
	10～29年経過分	16	201.48	144.46
神通川・庄川 (富山県、岐阜県)		582	23,884.47	17,028.37
	50年以上経過分	152	7,794.04	6,512.68
	30～49年経過分	265	11,724.73	7,878.10
	10～29年経過分	165	4,365.70	2,637.59
宮川 (三重県)		355	10,357.16	8,383.40
	50年以上経過分	81	3,577.98	3,182.52
	30～49年経過分	135	4,653.39	3,615.26
	10～29年経過分	139	2,125.79	1,585.62
円山・千代川 (兵庫県、岐阜県)		1,046	31,205.80	25,229.58
	50年以上経過分	223	8,865.59	8,146.90
	30～49年経過分	427	14,457.16	11,376.17
	10～29年経過分	396	7,883.05	5,706.51
吉野・仁淀川 (徳島県、愛媛県、高知県)		725	20,684.03	16,397.51
	50年以上経過分	143	6,879.08	5,868.65
	30～49年経過分	301	9,164.77	6,807.01
	10～29年経過分	281	4,640.18	3,721.85
合 計		3,232	112,801.02	87,117.60
	50年以上経過分	674	33,309.02	29,025.18
	30～49年経過分	1,356	51,982.02	39,205.41
	10～29年経過分	1,202	27,509.98	18,887.01

注) 合計と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

## 指標年における生育状況取りまとめ表

### 天塩川広域流域(北海道)

指標年	事業対象 区域面積	生育状況					備考	
		生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由		
50年	0	-	-	-	-	-		
30年	35	概ね順調	0	0%	0	0%	-	森林調査実績がないため、10年経過分と同様の現地調査を実施
10年	63	概ね順調	0	0%	0	0%	-	

### 渡島・尻別川広域流域(北海道)

指標年	事業対象 区域面積	生育状況					備考	
		生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由		
50年	100	概ね順調	-	-	21	22%	雪害	ヤマハンノキ
30年	49	概ね順調	0	0%	0	0%	-	森林調査実績がないため、10年経過分と同様の現地調査を実施
10年	92	概ね順調	0	0%	0	0%	-	

### 米代・雄物川広域流域(秋田県)

指標年	事業対象 区域面積	生育状況					備考	
		生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由		
50年	351	概ね順調	-	-	30	9%	雪害	ミズナラ
30年	241	概ね順調	0	0%	0	0%	-	
10年	55	概ね順調	0	0%	0	0%	-	

### 那珂川広域流域(福島県、茨城県、栃木県)

指標年	事業対象 区域面積	生育状況					備考	
		生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由		
50年	115	概ね順調	-	-	33	30%	干害	ミズナラ
30年	0	-	-	-	-	-	-	
10年	10	概ね順調	0	0%	0	0%	-	

※備考欄に記載の広葉樹名は、広葉樹林化した区域の主たる広葉樹  
 ※指標年50年及び30年については、特にことわりがない限り森林調査(VI齢級以上の林分において実施)実施地のデータにより作成  
 ※生育遅れ率及び広葉樹林化率は、事業対象区域面積のうち前生広葉樹等面積を差し引いた面積により算定

## 指標年における生育状況取りまとめ表

### 神通・庄川広域流域(富山県、岐阜県)

指標年	事業対象 区域面積		生育状況					備考
			生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由	
50年	937	概ね順調	-	-	202	22%	雪害	ナラ類
30年	189	概ね順調	0	0%	7	26%	雪害	ホオノキ、ミズナラ
10年	39	概ね順調	11	37%	1	2%	雪害	ホオノキ、ミズナラ

### 宮川広域流域(三重県)

指標年	事業対象 区域面積		生育状況					備考
			生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由	
50年	498	概ね順調	-	-	43	9%	病虫獣害	ナラ類、カン類 シカ害
30年	145	概ね順調	0	0%	3	2%	病虫獣害	ナラ類、カン類 シカ害
10年	65	概ね順調	10	20%	0	0%	-	

### 円山・千代川広域流域(兵庫県、鳥取県)

指標年	事業対象 区域面積		生育状況					備考
			生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由	
50年	1318	概ね順調	-	-	158	13%	病虫獣害	コナラ、エゴノキ 松くい虫被害
30年	120	概ね順調	0	0%	1	3%	雪害	クヌギ
10年	74	概ね順調	3	5%	5	9%	病虫獣害	クヌギ シカ害

### 吉野・仁淀川広域流域(徳島県、愛媛県、高知県)

指標年	事業対象 区域面積		生育状況					備考
			生育遅れ 面積	生育遅れ 率	広葉樹林化 面積	広葉樹林化 率	広葉樹林化 の主な理由	
50年	1016	概ね順調	-	-	197	20%	風害・雪害	ナラ類、カン類
30年	156	概ね順調	0	0%	4	5%	病虫獣害	シロモジ ウサギ害
10年	186	概ね順調	5	3%	29	20%	病虫獣害	シカ害

※備考欄に記載の広葉樹名は、広葉樹林化した区域の主たる広葉樹  
 ※指標年50年及び30年については、特にことわりがない限り森林調査(VI齢級以上の林分において実施)実施地のデータにより作成  
 ※生育遅れ率及び広葉樹林化率は、事業対象区域面積のうち前生広葉樹等面積を差し引いた面積により算定

## 指標年における費用対効果分析結果

(単位：ha、千円)

広域流域	指標年	事業対象 区域面積	便益 (B)	費用 (C)	B / C
天塩川	30年経過分	35	548,496	329,461	1.66
	10年経過分	63	493,442	250,122	1.97
渡島・尻別川	50年経過分	100	3,498,523	2,021,723	1.73
	30年経過分	49	790,063	467,389	1.69
	10年経過分	92	670,525	330,776	2.03
米代・雄物川	50年経過分	351	14,671,458	9,667,107	1.52
	30年経過分	241	4,797,796	3,226,981	1.49
	10年経過分	55	473,104	262,997	1.80
那珂川	50年経過分	115	4,445,965	3,590,497	1.24
	10年経過分	10	84,263	57,802	1.46
神通・庄川	50年経過分	937	41,776,709	29,633,158	1.41
	30年経過分	189	3,826,167	2,810,809	1.36
	10年経過分	39	363,542	217,629	1.67
宮川	50年経過分	498	23,947,785	15,623,641	1.53
	30年経過分	145	3,190,264	2,128,933	1.50
	10年経過分	65	652,714	357,609	1.83
円山・千代川	50年経過分	1,318	54,200,130	36,516,634	1.48
	30年経過分	120	2,250,476	1,559,667	1.44
	10年経過分	74	639,498	361,132	1.77
吉野・仁淀川	50年経過分	1,016	47,101,578	28,546,036	1.65
	30年経過分	156	3,324,786	2,052,934	1.62
	10年経過分	186	1,804,504	914,901	1.97